

社会福祉法人むつみ福祉会

平成 27 年度 事 業 報 告 ~~(案)~~

平成28年5月24日 承認

【社会福祉法人むつみ福祉会】法人基調報告

1 はじめに

平成 27 年度は、法人全体の 8 事業は特に滞りなく運営ができた 1 年であった。

なかでも名古屋市の指定管理者として運営を始めた名古屋市重症心身障害児者施設(通称：ティンクルなごや)は、市内外からの見学者や問い合わせも多く、関係者からの関心の高さが伺えた。

むつみグリーンハウスの方は老朽化した建物の大規模改修を行なった。敷地を囲むブロック塀の取り換え、敷地内の地盤沈下部分の補修といった土木工事に加え、建物の外壁の補修・塗装、館内のトイレや水回りの改修などもあり、当初の想定よりも大がかりな改修工事となった。

工事期間中は施設営業を並行することを条件としたため、仲間や職員にも館内設備の使用制限などですいぶん負担を強いることとなつたが、年度末に無事終了することができた。

2 各事業の基調報告

【むつみグリーンハウス】

平成 26 年度に引き続き、平成 27 年度も 4 月からの新規利用者の受け入れがない年度となった。また、ティンクルなごやの開設に伴い 4 名の仲間がむつみグリーンハウスを退所することとなった。

但し、この状況になることを織り込んだ営業活動や現場職員の頑張りもあり、今年度は年度途中から仲間を 4 名迎えることができた。更に平成 28 年度には新卒の仲間 3 名と契約ができる予定である。

取り組みに新規プログラムやイベントを組み入れるなどの工夫をする一方で、仲間の加齢に伴う障害の重度化や家庭環境の変化により、既存の仲間の出席日数が減少する傾向も顕著になってきた。

【なごみ居宅サポートセンター / なごみ移動サポートセンター】

居宅支援事業「なごみ居宅サポートセンター」と移動支援事業「なごみ移動サポートセンター」は、地域生活を願う利用者様に相談・利用しやすい環境を作ることに努めた。また好評の「集団外出」の企画もさらに内容を吟味し充実させた。

登録ヘルパーの増加は依然として課題のままであるため、(法人内の他事業部門との)兼務職員を増員することとなった。外部への募集活動は新聞への折り込み広告をはじめ、近隣学区の回覧にチラシを挟ませてもらって活動した。結果、男性ヘルパー 1 名、女性ヘルパー 1 名の登録があった。大幅な改善には結びつかなかったものの、今後も新たな方法の提案・実践に取り組む必要がある。

【障害者相談センター歩】

今年度は(法人内の他事業部門との)兼務職員を増員し、2名体制となった。契約数の多さから煩雑になりがちな業務の平均化を図れたこと、担当職員の精神的な負担の軽減が図れたことは大きい。それでも寄せられる相談内容は困難なものが多いため、2名で効率よく適切な支援ができるよう情報共有・連携を取る努力・実践をした。

【中区障害者基幹相談支援センター】

昨年度同様にスーパーバイズ契約で「鶴舞メンタルクリニック」の PSW(精神科ソーシャルワーカー)の方に手伝っていただく体制で運営をした。そのおかげもあり、相談件数の多い精神障害のある方の相談を混乱なく行なうことができた。

また平成27年度は障害支援区分の更新の多い年度でもあった。それぞれの区ごとの認定調査が原則だが、他区への応援調査も行なった。

【名古屋市重症心身障害児者施設(ティンクルなごや)】

療養介護・医療型障害児入所施設は、入所調整会議を経て39名の入所でスタートした(入所適合判定52名から辞退者13名を除した人数)。初年度の目標には及ばなかったものの、入所調整会議での決定を受けた方については、ご本人の事情以外の人はほぼ受け入れることができた。

短期入所は枠をおおむね4床と想定しての1年目であったが、年度後半の稼働率は平均3.5人/日を上回った。4床体制としては87%の充足率となり、当初の予想以上にティンクルなごやの重要な役割であることを認識することになった。

初年度の運営は「初めてづくし」の1年であったが、利用者満足度調査では概ね良好な評価を戴くことができた。

3 事業の実施状況 (*在籍者数は平成28年3月31日現在)

(1) 第一種社会福祉事業

① 医療型障害児入所施設

「名古屋市重症心身障害児者施設」(定員90名)

* 名古屋市北区平手町一丁目1-5

(2) 第二種社会福祉事業

① 生活介護

「むつみグリーンハウス」(定員60名)(在籍69名)

② 居宅介護、重度訪問介護、同行援護及び行動援護

「なごみ居宅サポートセンター」

- ③ 移動支援
「なごみ移動サポートセンター」
- ④ 計画相談支援、障害児相談支援
「障害者相談センター一步」
- * 以上4事業は、名古屋市中区古渡町9-18
- ⑤ 療養介護
「名古屋市重症心身障害児者施設」(定員90名)
- ⑥ 短期入所
「名古屋市重症心身障害児者施設」(定員90名)
- * 以上2事業は、名古屋市北区平手町一丁目1-5
- ⑦ 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援及び地域定着支援
「名古屋市中区障害者基幹相談支援センター」
- * 名古屋市中区大須四丁目10-85

4 理事会・評議員会の運営状況(*平成28年3月31日現在の情報で作成)

- (1)任期期間中のため、メンバーに変更はない。
- (2)理事及び監事(理事10名、監事2名 敬称略)

役職	氏名	主な所属先・職業など	任期
理事長	野瀬武敬	全国指定都市子ども会連合会長	平成26年10月21日～28年10月20日
理事	富田偉津男	専務理事、税理士	平成26年10月21日～28年10月20日
理事	松田昌久	副理事長、愛知県重症心身障害児(者)を守る会 会長	平成26年10月21日～28年10月20日
理事	原山剛三	弁護士	平成26年10月21日～28年10月20日
理事	山田正人	医師、短期大学教授	平成26年10月21日～28年10月20日
理事	磯部育義	金山橋連合商店街振興組合理事長	平成26年10月21日～28年10月20日
理事	木村智明	正木学区区政協力委員長	平成26年10月21日～28年10月20日
理事	二村眞秀	名古屋市重症心身障害児者施設 院長	平成26年10月21日～28年10月20日
理事	牧坂浩之	むつみグリーンハウス 施設長	平成26年10月21日～28年10月20日
理事	柴田詩子	むつみ福祉会(中区拠点事業所) 統括主任	平成26年10月21日～28年10月20日
監事	尾崎秀明	税理士	平成26年10月21日～28年10月20日
監事	熊崎正実	福祉専門学校校長	平成26年10月21日～28年10月20日

(3)評議員会(21名 敬称略)

役職	氏名	主な所属先・職業など	任期
評議員	福村真紀子	学校法人事務長	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	松島清子	地域、元正木女性会会長	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	野村敬子	短期大学 准教授	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	栗田和典	株式会社チュ～才～社長	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	羽山純	名古屋市重症心身障害児者施設 事務部長	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	濱野好子	名古屋市重症心身障害児者施設 療育部長	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	増山民造	愛知県重症心身障害児(者)を守る会	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	加藤和雄	地域、中区子ども会連合会副会長	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	丸山秀樹	地域、福祉事業経営者	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	西澤有子	地域、正木学区主任児童委員	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	浅井清正	地域、総務省行政相談員	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	長野友里	臨床心理士	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	尾関智	中区社会福祉協議会事務局長	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	仲一幸	中区障害者基幹相談支援センター	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	山田崇統	なごみ居宅・移動サポートセンター	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	戎 弘志	福祉専門学校・大学教員	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	早川弘子	愛知県重症心身障害児(者)を守る会	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	小柳志津代	保護者	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	清水努	愛知県重症心身障害児(者)を守る会	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	上江洌真由美	株式会社コマゼン代表	平成26年10月21日～28年10月20日
評議員	田中巖	橘学区民生委員・児童委員	平成26年10月21日～28年10月20日

(4)理事会の開催状況

145回	H27.4.30(水)	18:00-18:30	1. むつみグリーンハウス大規模改修工事の入札・建設スケジュールについて 2. 名古屋市重症心身障害児者施設の業者機種の選定結果、並びに入札執行について
146回	H27.5.1(月)	18:00-18:20	1. 名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごやの利用者及び夜勤者用等寝具・リネン類等賃貸借契約の入札結果承認について
147回	H27.5.26(火)	18:00-19:25	1. 平成26年度社会福祉法人むつみ福祉会事業報告(案)について 2. 平成26年度社会福祉法人むつみ福祉会決算報告について 3. むつみグリーンハウス大規模改修工事の入札公告の再掲載について
148回	H27.6.17(水)	19:00-19:35	1. むつみグリーンハウス大規模改修工事の入札執行の承認について 2. 名古屋市重症心身障害児者施設の入札結果報告と契約承認について
149回	H27.7.22(水)	19:00-19:45	1. むつみグリーンハウス大規模改修工事の入札結果報告と契約承認について 2. 名古屋市重症心身障害児者施設の施設・整備管理業務委託契約の入札参加業者承認について
150回	H27.8.13(木)	19:00-19:35	1. 名古屋市重症心身障害児者施設 施設管理業務委託契約指名競争入札結果の承認について 2. 基幹相談支援センター運営規程の変更について
151回	H27.9.14(月)	18:00-18:45	1. 名古屋市重症心身障害児者施設給与規程の改定について 2. 社会福祉法人むつみ福祉会経理規程の改定について
152回	H27.10.7(水)	19:00-19:30	1. 千種区に所有する土地・建物の売却に関する専任媒介契約について
153回	H27.12.15(火)	18:00-19:15	1. 名古屋市重症心身障害児者施設び備品整備事業について 2. 高額寄付の受け入れの承認および補正予算について 3. 名古屋市重症心身障害児者施設の各種規程について

			<p>て</p> <p>4. 社会福祉法人むつみ福祉会のマイナンバー取り扱い規程について</p> <p>5. 千種区の土地・建物の売却について</p> <p>6. 運営規程の変更について</p>
154回	H28.2.8(月)	19:30-19:50	<p>1. 名古屋市重症心身障害児者施設設備品整備(介護用天井走行リフト)設置事業について</p>
155回	H27.3.22(火)	18:00-19:55	<p>1. 平成28年度社会福祉法人むつみ福祉会事業計画(案)について</p> <p>2. 平成28年度社会福祉法人むつみ福祉会予算(案)について</p> <p>3. 社会福祉法人むつみ福祉会公益通報者保護に関する規程の変更について</p> <p>4. むつみグリーンハウス給与規程の変更について</p> <p>5. 特定個人情報取扱規程について</p> <p>6. 名古屋市重症心身障害児者施設就業規則の変更について</p> <p>7. 名古屋市重症心身障害児者施設の業務委託等の契約に向けた事業計画及び入札業者選定、入札執行について</p> <p>8. 各事業の運営規程の変更について</p>

(5)評議員会の開催状況

90回	H27.5.26(火)	16:00-17:10	1. 平成26年度社会福祉法人むつみ福祉会事業報告(案)について 2. 平成26年度社会福祉法人むつみ福祉会決算報告について 3. むつみグリーンハウス大規模改修工事の入札公告の再掲載について
91回	H27.9.14(月)	16:30-17:10	1. 名古屋市重症心身障害児者施設給与規程の改定について 2. 社会福祉法人むつみ福祉会経理規程の改定について
92回	H27.12.15(火)	16:30-17:20	1. 名古屋市重症心身障害児者施設及び備品整備事業について 2. 高額寄付の受け入れの承認および補正予算について 3. 名古屋市重症心身障害児者施設の各種規程について 4. 社会福祉法人むつみ福祉会のマイナンバー取り扱い規程について 5. 千種区の土地・建物の売却について 6. 運営規程の変更について
93回	H27.3.22(火)	15:30-17:00	1. 平成28年度社会福祉法人むつみ福祉会事業計画(案)について 2. 平成28年度社会福祉法人むつみ福祉会予算(案)について 3. 社会福祉法人むつみ福祉会公益通報者保護に関する規程の変更について 4. むつみグリーンハウス給与規程の変更について 5. 特定個人情報取扱規程について 6. 名古屋市重症心身障害児者施設就業規則の変更について 7. 名古屋市重症心身障害児者施設の業務委託等の契約に向けた事業計画及び入札業者選定、入札執行について 8. 各事業の運営規程の変更について

5 監査

今年度はそれぞれの事業での監査があった。事務的ミスや認識不足による書類や記録の不足の指摘がほとんどであった。指摘・指導された内容についてはすでに改善報告書を提出し受理していただいている。

改善を指導された項目数は以下の通り。

【むつみグリーンハウス】

- ・障害者総合支援法第 10 条監査での指摘事項
 人員配置基準について 1 項目
 設備基準について なし
 運営基準について 6 項目
 報酬算定について 3 項目
- ・障害者総合支援法第 70 条監査での指摘事項
 指導事項 9 項目

【なごみ居宅サポートセンター】

- ・障害者総合支援法第 10 条監査での指摘事項
 人員配置基準について 1 項目
 設備基準について なし
 運営基準について 4 項目
 報酬算定について なし

【なごみ移動サポートセンター】

- ・障害者総合支援法第 10 条監査での指摘事項
 人員配置基準について なし
 設備基準について なし
 運営基準について 3 項目
 報酬算定について なし

【障害者相談センター一歩】

- ・障害者総合支援法第 10 条監査での指摘事項
 人員配置基準について 1 項目
 設備基準について なし
 運営基準について 1 項目
 報酬算定について なし

【中区障害者基幹相談支援センター】

- ・障害者総合支援法第 10 条監査での指摘事項
 - <計画相談支援>
 - 人員配置基準について なし
 - 設備基準について なし
 - 運営基準について 3 項目
 - 報酬算定について なし
 - <地域移行支援・地域定着支援>
 - 人員配置基準について なし
 - 設備基準について なし
 - 運営基準について 2 項目
 - 報酬算定について なし
 - <障害児相談支援>
 - 人員配置基準について なし
 - 設備基準について なし
 - 運営基準について 2 項目
 - 報酬算定について なし

【名古屋市重症心身障害児者施設】

- ・医療法第 25 条第 1 項に基づく立入検査
 - 改善を検討していただきたい事項 1 項目
- ・障害者総合支援法第 10 条監査での指摘事項
 - <療養介護>
 - 人員配置基準について なし
 - 設備基準について なし
 - 運営基準について 5 項目
 - 報酬算定について 2 項目
 - <短期入所>
 - 人員配置基準について なし
 - 設備基準について なし
 - 運営基準について 3 項目
 - 報酬算定について なし

6 千種区の土地・建物について

中区内の不動産業者と専任媒介契約を締結し、3 月に昭和区の買主との間で売買契約が成立した。最終的な金額(売値)は 2,350 万円となった。

【生活介護事業所 むつみグリーンハウス】事業報告

1 総論

むつみ福祉会の理念である「どんな重度障がい者にも自立がある」「どんな重度障がい者も成長し続ける」「地域生活支援のあり方を追求する」を念頭に、2F・3F それぞれの取り組みを計画・実践した。

障害福祉サービスとして事業を展開していくにあたり、仲間のニーズをしっかりと把握した上で実践できるよう、家族や仲間の面談、個別支援計画の見直しを計画的に行なうことができた。

平成 24 年度の生活介護事業への完全移行後は、仲間の利用日数が生活介護事業の収入に直結するシステムとなっている。そのため今年度は長期休みの仲間へのニーズの再確認や休みがちの仲間への利用の呼びかけを積極的に行なった。また、受け入れの余裕があらかじめ判った時や仲間から新たな利用希望のニーズがあった時などは、できるだけ期待に応えられるよう心掛けた。

しかし名古屋市重症心身障害児者施設(通称ティンクルなごや。以下、ティンクルなごやという。)への入所のための退所やショートステイ、体調不良による長期入院などによる長期欠席もあり仲間の利用率はそれぞれ減少であった。

一方でこうした状況になることはある程度は想定できていたため、次年度以降の新卒の仲間の募集や年度途中での仲間の募集などの営業活動も積極的に行なった。今年度は2Fで2名、3Fで1名の年度途中での仲間の利用登録があった。更に来年度へ向けての新規登録者3名が確定しており、利用者数・利用率とも回復の兆しが見える一年であったともいえる。

【参考：直近3年度の延べ利用日数】

	平成 25 年度 (266 日開所)	平成 26 年度 (266 日開所)	平成 27 年度 (268 日開所)
2F	4,810	4,681	4,521
3F	6,875	6,727	6,652
合計	11,685	11,408	11,173

【参考：直近3年度の利用登録者数(*いずれも当該年度の3月末時点での人数)】

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
2F	39	36	33
3F	36	34	37
合計	75	70	70

2 作業型(3F)

1) 木工・ビーズ

地域のイベントやお付き合いのある施設でのイベント・バザーの参加など、例年通りの出張販売に加え、お誘いのあった委託販売の機会にはできるだけ出品できるよう努力した。また干支の作成も夏ごろから取り組み、在庫の確保をと並行しながら販売宣伝を行なった。

2) 下請け

例年同様のアメニティグッズの詰め合わせ、つけものの箱作り、メダルケースの組み立て、コーヒー袋へのラベル貼りは一年を通して作業を行なった。安定した発注を戴けることもあり、仲間の工賃の安定につながっている。またアルミ缶つぶしや福祉協力店でのファイル差し替え作業なども定期的に行なえていた。

3) 新聞丸め

自動車部品輸送の際に緩衝材の目的で利用するために依頼されている新聞丸めの作業だが、発注先の会社から「近年需要が減ってきてている」との事情を伺っている。そのため、毎週の回収ではなく隔週での回収になるなど、今後の動向を注視する必要がある。ただし、会社のご厚意で、工賃は年度固定金額のまま下がってはいない。

4) 日常生活用具給付の仲介

これまでの作業と違い利益率が高く、軌道に乗れば仲間の工賃アップなどにもつながる作業となるので、作業工程を仲間と職員で工夫しながらはじめようと計画した。しかし仲介業という経験がない仕事のうえ、給付制度のルール理解などに想像以上に時間がかかり、開始早々は不安が多いスタートであった。また小さなミスが重なり、利用者の方からクレームを戴いたこともあった。それでも徐々に仕事手順も明確になり落ち着いてきた感がある。

5) その他・取組など

仲間のニーズに合わせ調理、身だしなみ、運動、ゲームなど定期的に行なってきた。取り組みが充実することで作業意欲の向上にも繋がり、生きがい・やりがいを持てる仲間が増えた。

【参考：直近3年度の仲間の平均工賃】(単位：円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
総売上	2,216,659	2,450,249	4,479,174
工賃	1,819,422	1,848,190	1,801,340
1人当たりの平均	46,650	46,000	51,460

3 日中活動型(2F)

個別支援計画の立案時には仲間本人や家族のニーズを聞き、個々の仲間の状態やニーズに応じたメリハリのあるプログラム（午前は活動的、午後はリラックス）を設定した。また各月で行事やイベントを企画し、それぞれの仲間が季節を感じることやいつもと違う環境で取り組みを他の事務事ができるよう工夫をした。また、外来講師による専門的な活動も定期的にプログラムできた。

1) 普段の取り組み

1つ1つの取り組みの見直しを行なうとともに、新しい取り組みの提供を行なってきた。仲間が参加しやすいよう工夫してきたことで仲間一人ひとりの楽しみ、やりがいにつながっていったと思われる。

2) 音楽療法

グループ別で活動してきたことにより仲間に合った楽器や音楽を見つけ、評価することができた。また、グループごとの活動を発表する機会を設け互いの仲間の様子を見るよい機会となった。

3) 創作活動

季節や行事に合わせ計画的に活動を行なってきた。創作したものを飾ることで季節感や達成感を味わえることができた。

4) 外出

例年通り10月から12月にかけて1日外出を行なってきたが、気候により外出することが難しいことがあったため、28年度は年間を通し行なっていく。

5) リハビリ

P Tを希望する仲間一人ひとりに対し、月に1回診察できるよう努めてきた。また、P T、D rと連携し午後の時間を使い個別の体操を行なってきた。活動を定期的に行なうことで多くの仲間が身体機能を維持することができていた。今後も定期的にリハビリ評価をしていき身体機能の維持に努めていく。

4 全体行事

1) 音楽プラザ音楽会

地域の方のご協力を経て、市民会館北の音楽プラザのロビーを借りての定期演奏会を今年も行なった。音楽に興味を持つ仲間はもちろん、定期的に音楽会を開催してきたことで楽しみにしている仲間も年々増えてきている。今年度は利用日でない仲間も参加することができた。

2) 運動会

初めてむつみグリーンハウス全体での運動会を中スポーツセンターで行なう事ができた。施設外の環境で初めての行事ということもあり、多くの仲間が積極的に参加して楽しんでいた。普段ではできない「グリーンハウス全体の交流」という意味でもよい効果となつた。

5 入所(利用開始)者・退所(利用終了)者

1) 入所(利用開始)者

利用型	利用開始月	性別(姓のイニシャル)
日中活動型(2F)	平成 27 年 12 月	女性(W)
	平成 28 年 1 月	男性(N)
作業型(3F)	平成 27 年 7 月	女性(Y)
	平成 28 年 2 月	男性(I)

2) 退所者(利用終了)者

利用型	利用終了月	性別(姓のイニシャル)
日中活動型(2F)	平成 27 年 5 月	男性(I)
	平成 27 年 6 月	女性(Y)
	平成 27 年 9 月	女性(I)
	平成 27 年 9 月	女性(N)
	平成 28 年 1 月	男性(S)
作業型(3F)	平成 27 年 8 月	女性(S)
	平成 28 年 2 月	男性(I)

【なごみ居宅サポートセンター】事業報告

1 総論

事業を展開していくにあたり、『安心・安全なサービス』を心掛けながら、名古屋市内に住んでいる障がい児・者が住み慣れた地域で安心した日常生活を営むことができるよう、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に規定する指定障害者福祉サービス【居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護】を行なった。

むつみ福祉会の理念の一つでもある「重度の障がい者の地域生活支援のあり方を追求する」を念頭におき、新たなサービス利用等の相談を円滑に行なえるように取り組むとともに、地域生活の担い手として居宅サービス利用の架け橋となり、安定したサービス利用へと繋がるよう体制作りに努めた。

活動していく中で、常に利用者の意思を尊重し、一つひとつのケアの質の向上に努めると共に、適切且つ効果的にサービスが行なえるよう取り組んだ。また、これまで以上に相談支援事業者や他の居宅支援事業所との連携（サービス相談や情報共有など）にも努めた。

登録スタッフ数を確保できなかったため、2名の施設職員を兼務として補うことになった。そのことにより、安定したサービス提供を継続できたとともに仕事内容の相互理解へと繋がった。スタッフの不慮のアクシデント等により、サービスシフトの調整に苦慮する一年ともなった。

様々なご意見が寄せられた中で、『安心・安全なサービス』を心掛けている成果の表れとして、相談事業所の担当者の方を通じてではあったが、「サービス利用して良かった」「丁寧な対応で、とても助かっている」などお褒めの言葉を本人やご家族の声として戴いた。

集団外出では、企画内容を工夫することにより、一人でも多くの利用者の方が参加できるようにし、余暇の充実を図れるように努めた。参加した利用者の方からは、「参加して良かった」などの声があり、ご家族の方からも「普段体験できないことを、体験することが出来て良かった」などの声が寄せられた。また、利用者同士での交流を図る機会ともなり、企画をした成果は得ることができた。

事業実績としては、今年度新規契約者1名、契約終結者4名と契約者数は減少となつたが、既存の利用者の方のサービス利用の充実へと繋がった。そのことにより、全体を通してサービス提供件数や提供時間総数は、大きな変動もなく昨年とほぼ横ばいとなつた。

2 各取り組み

① スタッフ研修

月1回の研修時間を設けて、少人数ではあったが継続的に実施したことにより、スタッフ間での意見交換の場となり、有意義な研修となった。

また、外部研修報告会を随時実施したことにより、スタッフ相互でのスキルアップへと繋がるとともに情報共有を図ることができた。

利用者の方の余暇の充実をねらいとして企画した集団外出を通して、スタッフ研修やスタッフ同士との交流を図ったことにより、登録スタッフも含めスタッフ同士での意見交換する場ともなった。

《集団外出の状況》

8月：『夏まつり』

利用者3名・スタッフ5名の計8名で、栄ミナミ盆おどりへの外出

10月：『市外へ出かけよう』

利用者5名・スタッフ7名(運転手含め)の計12名で、岐阜基地航空祭
2015への外出

12月：『クリスマスパーティー』

利用者5名・スタッフ7名の計12名で、むつみ交流室にて調理〔サンドウィッチ・カットケーキ〕

2月：『お楽しみ会』

カラオケ外出〔ジョイサウンド金山店〕

第一弾 利用者5名・スタッフ6名の計11名

3月：『お楽しみ会』

カラオケ外出〔JOUJOY 金山セガ店〕

第二弾 利用者4名・スタッフ6名の計10名

第三弾 利用者4名・スタッフ5名の計9名

② ヘルパー募集

立ち上げ当初より課題となっている登録ヘルパーの確保についても、引き続き取り組んだ。

主な利用者の居住周辺地区とともに、今年度は新たに媒体（中日＋朝日）を変えて新聞折り込みチラシでのヘルパー募集を行なったことにより、若干数のスタッフを確保することに至った。

新聞折り込みチラシの効果により、数件の連絡はあった。昨年に引き続き、不規則勤務で条件の合わない方や年齢層が高い方の申し込みが多く、面接や施設実習を終えた後で、「自信がない」等の理由で辞退される方も多く登録へとは繋がらなかった。

今後も継続して登録スタッフの募集を行ない、安定してスタッフを確保出来るような体制を構築していくよう取り組んでいく。

安定したスタッフ体制の構築に伴い、既存のスタッフが継続した勤務ができるよう登録スタッフの処遇状況を見直し、昇給制度等の構築に至った。

3 事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	35	35	34	35	35	34	34	33	33	33	32	32	
利用実績	28	27	29	27	27	27	28	26	27	26	26	27	325 (345)
<内訳>													
(居宅介護)	18	18	17	16	16	17	17	17	17	17	17	17	204 (212)
(重度訪問介護)	16	17	19	17	16	15	15	13	15	14	14	15	186 (188)
(行動援護)	-	1	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	8 (8)
(同行援護)	1	1	1	1	2	2	1	2	2	2	1	1	17 (10)
利用のべ件数	293	288	314	280	231	273	294	282	264	243	265	284	3,311 (3,308)
提供のべ時間数	471.25	451.75	528.25	426.75	372.5	411	442	396.75	436.75	363.75	400.25	454.5	5155.5 (5,198)
登録ヘルパー数	10	10	11	11	11	11	11	11	10	10	11	11	

※()は、26年度実績

4 事業の対象者

身体障害	知的障害	障害児	精神障害
28 [9]	23 [4]	0	0

※ [] 単独手帳所持者

5 事業の実施地域(名古屋市全域)

中区	中川区	昭和区	西区	港区	計
12	2	4	2	2	
熱田区	千種区	中村区	守山区	北区	
2	3	3	1	1	32

【なごみ移動サポートセンター】事業報告

1 総論

事業を展開していくにあたり、『安心・安全なサービス』を心掛けながら、名古屋市（中区を中心）に住んでいる障がい児・者が住み慣れた地域で安心した日常生活を営むことができるよう、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく地域生活支援事業における移動支援サービスを行なった。

新たなサービス利用等の相談を円滑に行なえるように取り組むとともに、地域生活支援の担い手としてサービス利用の架け橋となるよう体制作りに努めた。

活動していく中で、常に利用者の意思を尊重し、一つひとつのケアの質の向上に努めると共に、適切且つ効果的にサービスが行なえるよう取り組んだ。また、これまで以上に相談支援事業者や他の居宅支援事業所との連携（サービス相談や情報共有など）にも努めた。

一人でも多くの利用者の方が参加できるようにするとともに、余暇の充実を図れるよう企画内容を工夫し、集団外出を定期的に実施した。参加した利用者の方からは、「また、みんなで外出したい」「みんなで外出して楽しかった」などの声が聞かれ、企画をした成果は得ることができた。利用者同士での交流を図る機会ともなり、利用者の方の普段とは違う一面も垣間見られた。

事業実績としては、今年度新規契約4者名、契約終結者1名と契約者数が増えたことにより利用総件数が増加となつたが、短時間のサービス（送迎）のサービス提供が多かったこともあり大きな変動もなく昨年とほぼ横ばいとなった。

2 各取り組み

① スタッフ研修

月1回の研修時間を設けて、少人数ではあったが継続的に実施したことにより、スタッフ間での意見交換の場となり、有意義な研修となつた。

また、外部研修報告会を隨時実施したことにより、スタッフ相互でのスキルアップへと繋がるとともに情報共有を図ることができた。

利用者の方の余暇の充実をねらいとして企画した集団外出を通して、スタッフ研修やスタッフ同士との交流を図ったことにより、登録スタッフも含めスタッフ同士での意見交換する場ともなつた。

《集団外出の状況》

8月：『夏まつり』

利用者3名・スタッフ5名の計8名で、栄ミナミ盆おどりへの外出

10月：『市外へ出かけよう』

利用者5名・スタッフ7名(運転手含め)の計12名で、岐阜基地航空祭2015への外出

12月:『クリスマスパーティー』

利用者5名・スタッフ7名の計12名で、むつみ交流室にて調理〔サンドウィッチ・カットケーキ〕

2月:『お楽しみ会』

カラオケ外出〔ジョイサウンド金山店〕

第一弾 利用者5名・スタッフ6名の計11名

3月:『お楽しみ会』

カラオケ外出〔JOUJOY金山セガ店〕

第二弾 利用者4名・スタッフ6名の計10名

第三弾 利用者4名・スタッフ5名の計9名

② ヘルパー募集

立ち上げ当初より課題となっている登録ヘルパーの確保についても、引き続き取り組んだ。

主な利用者の居住周辺地区とともに、今年度は新たに媒体(中日+朝日)を変えて新聞折り込みチラシでのヘルパー募集を行なったことにより、若干数のスタッフを確保することに至った。

新聞折り込みチラシの効果により、数件の連絡はあった。昨年に引き続き、不規則勤務で条件の合わない方や年齢層が高い方の申し込みが多く、面接や施設実習を終えた後で、「自信がない」等の理由で辞退される方も多く登録へとは繋がらなかった。今後も継続して登録スタッフの募集を行ない、安定してスタッフを確保出来るような体制を構築していくよう取り組んでいく。

安定したスタッフ体制の構築に伴い、既存のスタッフが継続した勤務ができるよう登録スタッフの待遇状況を見直し、昇給制度等の構築に至った。

3 事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	19	20	20	20	20	21	21	22	22	22	22	22	
利用実績	13	13	12	12	13	15	16	14	14	15	15	16	168 (167)
利用総件数	73	76	85	83	75	83	89	92	95	81	100	110	1042 (990)
提供時間総数	118	116	119.5	112	107	129	165	130.5	132	111.5	142	158.5	1541 (1,617)
登録ヘルパー数	10	10	11	11	11	11	11	11	10	10	11	11	

※ () は、26年度実績

4 事業の対象者

身体障害	知的障害	障害児（知的）	精神障害
9 [1]	18 [10]	2	1

※ [] 単独手帳所持者

5 事業の実施地域（通常の事業の実施地域：名古屋市中区）

中区	昭和区	港区	東区	千種区	中川区	熱田区	守山区	計
11	1	4	1	1	1	2	1	22

【障害者相談センター 一歩】事業報告

平成 27 年度より 2 名体制となった(但し、1 名は非常勤兼務)。結果、今まで1人で担当していた利用者様の引き継ぎを行ないながら情報を共有し、相談し合える環境ができた。また新規の利用者様の契約も増え、実施地域は名東区以外の市内 15 区と、近隣の 2 市を加えた広域にわたる。

名古屋市重症心身障害児者施設(通称：ティンクルなごや)が 5 月に開所されたことに伴い、むつみグリーンハウスの利用者様をはじめ、ティンクルなごやを利用される本会以外の利用者様の計画作成の依頼が増えた。何とか調整ができ、ほぼ断ることなく契約をすることができた。その際、生活環境が変わるため家族や関係機関と連携をしながら進めた。

定期的なサービス更新のための計画相談業務がもっとも多いが、生活環境の変化や身体状況の変化に伴うサービス変更の計画作成業務も少なくはなかった。またその時期が限定した期間に重なることが多く、時間のやりくりに苦慮することも多くあった。

サービスの更新やモニタリング(継続サービス利用支援)以外では利用者様や関係機関からのご相談に基づき福祉サービスの情報提供や調整等を行なう基本相談も行なった。内容としては、ヘルパー事業所の新規開拓が多く、事業所を探すのに苦慮した。

利用者様のご相談も多岐にわたり、電話だけではなく施設や利用者様のご自宅などへの訪問をしなければいけないことが多くなってきた。さらに利用者様本人だけではなくご家族の高齢化により家族単位での支援を視野に入れる必要もでてきた。

計画相談支援を行なう際は、障害者基幹相談支援センター、保健所、区役所、医療関係や事業所との連携に努め、利用者様本位の計画作成を行なった。

情報収集・共有については、中区障害者基幹相談支援センターが行なっている自立支援連絡協議会に毎月参加することで、区内の特定相談事業所の状況や課題を共有し、業務の見直し改善に努めた。

研修・スキルアップの機会としては、法人内で中区障害者基幹相談支援センターと相談支援部門として隔月研修に参加した。今年度は事例検討を行ない、様々な意見を出し合い自分とは違う考え方や、物の見方を学ぶチャンスが多くあった。このような経験を活かし、より利用者様のニーズに合わせたサービスが行なえるよう努めていく。

計画作成(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
3	7	5	15	5	10	18	5	10	5	6	16	105

モニタリング(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
7	9	12	13	13	12	10	11	16	16	10	18	147

契約者地域(名古屋市)

中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	中村区	西区
37	5	3	3	7	8	4	9
北区	東区	千種区	緑区	天白区	名東区	守山区	南区
3	1	5	1	3	0	3	2

名古屋市以外

東海市	あま市
1	1

障害種別

身体障害者	知的障害者	精神障害者
74	15	13

(表は平成28年3月31日現在の数字)

【中区障害者基幹相談支援センター】事業報告

1 事業提携（スーパーバイズ契約）

平成 27 年度も引き続き、精神障害に対する専門的な対応が行なえるような体制確保の為、「鶴舞メンタルクリニック」とスーパーバイズ契約を結び、相談支援の強化に努めた。

具体的には精神障害のある方の相談を受ける中で困った場合に相談（助言、指導）できる場所としての役割を鶴舞メンタルクリニックに依頼した。更に個別に精神科ソーシャルワーカーと雇用契約を結び、大須事務所に精神科ソーシャルワーカーが週 3 日（月、火、木）常駐できる環境を整えた。こうした体制整備を行なうことで各ケースにワーカーが同行でき、必要な指導や助言を受けられる環境、また精神障害分野の研修における講師（相談支援部会での助言や法人内での研修として隔月、一歩と合同で研修会を実施）なども依頼でき、精神障害のある方の相談を大きな混乱なく行なうことができた。

2 事業内容 ※32頁参照

（1）総合相談

全体の相談状況としては昨年に引き続き「福祉サービスの利用などに関する支援」の相談内容が一番多く、また「不安の解消・情緒安定に関する支援」の伸びが顕著であった。相談者数としては年々増加傾向で、年間累計数が 300 件を超えた。その中でも特に「精神障害」の相談件数の増加が顕著で、毎月の相談者数の内、新規相談の約 50%が精神障害という結果となった。

（2）処遇困難な障害者（児）への相談支援（計画相談）

サービス等利用計画の契約者数は昨年と比べ大きな変化はなく、1 件増加にとどまった。昨年に比べ合計実績が減った要因としては、モニタリングの期間が「毎月」から「3 ヶ月毎」に変更した方が数名いたことが挙げられる。

処遇困難なケースについては、サービス等利用計画に結びつくまでに至らないケースも多く、特に入退院を繰り返している病識の薄い精神疾患のある方のケースが増えている。また、他区や他市に在住の方で複数の相談機関との連携が必要なケースなども増えている状況である。

【サービス等利用計画】

平成 28 年 3 月末現在 契約者数 18 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画案	3	1	3	1	3	2	1	2	0	1	3	3	23
本計画	2	4	0	1	1	4	1	1	2	1	0	3	20
モニタリング	11	10	9	7	7	8	8	6	11	5	6	11	99
合計	16	15	12	9	11	8	10	9	13	7	9	17	142

平成 26 年度 合計実績 162 件

平成 25 年度 合計実績 52 件

(3) 地域環境作り（人材育成）※33 頁参照

中区障害者自立支援連絡協議会では「ネットワークの強化」「啓発」「個別支援の強化」を柱に、協議会の構成を「全体会」「運営会議」「専門部会」に分け、年間 55 回の活動を行なった。26 年度に引き続き「課題の集約・整理」に力を入れ、その課題を東ブロック会や名古屋市自立支援協議会検討会（仮称）に上申するなど、課題を改善するための「仕組み作り」を行なった。また、区内に児童を対象とした事業所が少なく、部会の編成が困難なことから、昭和区の自立支援連絡協議会（児童部会）へ引き続き参加した。

人材育成については、「相談支援部会」を中心に各相談機関が直近で困っているケースについて協議をしたり、必要に応じ研修会を実施する等の活動を行なった。

日時	内容	日時	内容
4月21日	昭和区自立支援協議会 児童部会①	6月24日	市自立支援協議会（仮称）検討会④
4月24日	市自立支援協議会（仮称） 検討会①	8月10日	市自立支援協議会（仮称）検討会⑤
5月22日	市自立支援協議会（仮称） 検討会②	10月20日	昭和区自立支援協議会児童部会④
6月10日	市自立支援協議会（仮称） 検討会③	10月27日	市自立支援協議会（仮称） 検討会⑥
6月10日	昭和区自立支援協議会 児童部会②	3月25日	市自立支援協議会（仮称） 検討会⑦
6月16日	昭和区自立支援協議会 児童部会③		

(4) 地域移行・地域定着支援

地域移行・地域定着支援対象者の把握と各医療機関とのネットワーク構築の為「精治療病院」「八事病院」を訪問した。また、現在、立ち上げを検討している精神障害者地域活動支援事業の対象者についても対象者の確認を行なった。さらに地域課題でもある「医療との連携」に対応するため、自立支援連絡協議会への参加を依頼（ネットワークを強化）し、承諾を得ることができた。

(5) 権利擁護

平成28年4月より施行される「障害者差別解消法」について、地域の関係機関に対して広く周知、理解を深める取り組みとして「名古屋市障害企画課の担当職員」を自立支援連絡協議会に招き、研修会を実施した。

また、成年後見制度や高齢者・障害者権利擁護事業の相談については、各ケースごとで必要に応じ、情報提供や専門機関の紹介または担当者会議の実施など支援を行なった。

虐待相談については、昨年度の区役所への届出の相談実績が2件だったが、平成27年度は0件であった。

【虐待相談件数】

実績：0件

平成26年度実績 2件

平成25年度実績 0件

(6) 障害支援区分認定調査

平成 27 年度は名古屋市の更新者の多い年度であったことから、区ごとで件数の調整を図り、北区（緑区は 1 件）の調査についても協力をすることとなった。その結果、昨年度に比べ調査件数が多くなった。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
中区 (区役所)	10	6	12	10	10	11	14	16	8	9	8	7	121
中区 (保健所)	6	4	8	9	3	3	7	6	5	3	4	5	63
北区 (区役所)	2	5	4		4	4	5	5	4				33
緑区 (区役所)			1										1
合計	18	15	25	19	17	18	26	27	17	12	12	12	218

平成 26 年度実績 160 件
平成 25 年度実績 92 件

(7) 障害者賃貸住宅入居等サポート事業による入居支援

前年度と比べ、大きな変化はなかった。

生活保護の受給を受けている単身者の身体障害の方からの相談で、「バリアフリーの物件」「37,000 円以内の家賃の物件」という条件で物件を探しているものの、1 年以上見つけられないようなケースも抱えている。実績：1 件

平成 26 年度実績 2 件
平成 25 年度実績 1 件

(8) 障害者自立支援配食サービスのアセスメント等

身体、知的障害の方の件数は前年度に比べ、あまり変化はない。しかし、精神障害の方は新規申し込みが増え、全体の件数前年度に比べ増えている。

	身体	知的	精神	合計
新規	1	0	6	7
再アセスメント	16	3	0	19
合計	17	3	6	26

平成 26 年度実績 21 件
平成 25 年度実績 21 件

(9) 障がい者サロン（よりみちサロン、ふれんず）

障害者サロンについては前年度同様に「よりみちサロン」「ふれんず」の2つの活動を中心地域の在宅障害児・者の余暇の充実と障害の啓発を目的に活動を行なった。

【よりみちサロン+ふれんず】 月 1 回（第 4 土曜日） 開催回数（12 回）

日時	活動内容	日時	活動内容
4月25日	創作活動（鯉のぼり、かぶと作り）	10月31日	日帰りバス旅行（あいち牧場）
5月23日	むつみ祭り準備	11月28日	クリスマス会準備
6月13日	むつみ祭り（ジュース・ビール販売）	12月19日	クリスマスパーティー
7月25日	御坊夏祭り練習（バルーン作り）	1月23日	お正月遊び（福笑い、コマ、けん玉）
8月22日	御坊夏祭り（バルーン作り）	2月27日	創作活動（卓上お雛様作り）
9月26日	調理（アメリカンドッグ）	3月26日	平成 27 年度振り返り 平成 28 年度の活動について

【ふれんず】 5 回

日時	活動内容
4月8日	ボラネットなかまんなか連絡会
6月15日	ボラネットなかまんなか連絡会
7月27日	ボラネットなかまんなか連絡会
9月2日	ボラネットなかまんなか連絡会
10月7日	ボラネットなかまんなか連絡会

(10) その他の活動

基幹支援センター関係の活動として、「障害者基幹相談センター運営・調整会議」「東ブロック会」「相談支援従事者初任者研修のファシリテーター」「研修講師」などに参加、協力することで、名古屋市全体の情報収集や課題の分析、相談支援専門員の養成や特定相談事業所とのネットワーク作りなどの活動に努めた。

また、新たに「介護ロボット普及モデル事業」にも参加し、介護ロボット普及活動にも協力を行なった。

地域の活動としては昨年度と同様に「中区地域福祉活動計画」「中区ボランティア・NPO 応援助成審査会」「特別支援学校卒後対策連絡協議会」「中区福祉教育連絡会」などに参加、協力することで地域福祉の推進に努めた。

【基幹支援センター関係会議等】23回

日時	内容	日時	内容
4月15日	東ブロック会①	10月30日	平成27年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター
5月12日	東ブロック会②	11月5日	平成27年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター
5月22日	第1回障害者基幹相談センター運営・調整会議	11月6日	平成27年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター
7月14日	東ブロック会③	11月14日	ワークハウスみかんやま講師派遣「基幹センターの業務について」
7月31日	第2回障害者基幹相談センター運営・調整会議	12月1日	東ブロック会⑤
9月8日	平成27年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター	12月9日	介護ロボット普及モデル事業ワークショップ①
9月15日	東ブロック会④	12月24日	第4回障害者基幹相談センター運営・調整会議
10月5日	平成27年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター	1月29日	介護ロボット普及モデル事業ワークショップ②
10月6日	平成27年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター	2月8日	東ブロック会⑥
10月16日	平成27年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター	3月25日	第5回障害者基幹相談センター運営・調整会議
10月27日	第3回障害者基幹相談センター運営・調整会議	3月30日	東ブロック会⑦
10月29日	平成27年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター		

【地域の活動】10回

日時	活動内容	日時	活動内容
6月11日	特別支援学校等卒後対策連絡協議会	11月18日	中区地域福祉活動計画 作業部会③
6月16日	中区地域福祉活動計画 作業部会①	12月15日	中区地域福祉活動計画 作業部会④
6月17日	中区ボランティア・NPO 応援助成審査会	1月26日	中区地域福祉活動計画 推進委員会②
7月2日	中区地域福祉活動計画 推進委員会①	2月19日	中区福祉教育連絡会
8月18日	中区地域福祉活動計画 作業部会②	2月16日	中区地域福祉活動計画 作業部会⑤

(11) 研修

法人内研修については、基幹支援センター職員と法人内の相談事業所の一歩職員と合同で年6回研修を行なった。研修内容としては事例検討をもとに、事例を検討するだけでなく、司会、書記（ホワイトボードへ記入）、事例提供者など分け、行なうことで各職員が求められるスキルを身に付けられるよう努めた。

外部研修については、法人内の研修では補えない専門的な知識や技術について学べるよう、必要に応じて参加した。（年間20回）

【法人内合同研修】（基幹相談支援センター十障害者相談センター一歩） 6回

日時	活動内容	日時	活動内容
5月12日	第1回相談研修 事例検討会 「脳性麻痺」	11月24日	第4回相談研修 事例検討会 「知的障害」
7月14日	第2回相談研修 事例検討会 「脳外傷 高次脳機能障害」	1月19日	第5回相談研修 事例検討会 「知的障害」
9月15日	第3回相談研修 事例検討会 「統合失調症 ADHD」	3月15日	第6回相談研修 27年度研修振り返り 28年度研修計画

【外部研修】20回

7月7日	発達の芽を伸ばそう！ 青年期までを見通した 発達の理解と支援課題	12月2日	高次脳機能障害者地域生 活援助者養成研修②
8月20日	盲人用具・点字図書館サ ービス説明会	12月11日	知的障害のある人のコミュ ニケーション特性と面接ス キルを学ぶ(虐待案等の事実 確認を中心に)
8月20日	障害者虐待相談職員研 修会	12月22日	福祉学習サポーター フォローアップ研修
10月2日	名古屋市相談支援従事 者研修	2月5日	精神障害についての理解 「精神科医療について」
10月21日	自立支援部及び高次脳 機能障害説明会	2月12日	精神障害についての理解 「地域医療連携について」
10月22日	みんなのセミナー「エンデ ィングノートの活用法」	2月17日	自立支援部及び高次脳機 能障害支援説明会
11月13日	精神疾患のある人の事例と 通して連例の可能性を探る	2月19日	精神障害についての理解 「精神疾患・障害を抱える 方の関わり方」
11月25日	福祉学習サポーター 養成研修	2月26日	精神障害についての理解 「精神科リハビリテーシ ョンについて」
11月26日	法人後見の実践から考 えること～知多地域成 年後見センター事例～	3月7日	名古屋市相談支援従事者 研修
12月1日	高次脳機能障害者地域 生活援助者養成研修①	3月17日	経営者・施設長セミナー 「障害がある方等への差 別解消について」

3 精神障害者地域活動支援事業立ち上げの検討

平成28年度の開所を目指し、名古屋市と交渉を続けながら立ち上げの準備を行なった。

物件としては、20名以上の利用者を担保する広さ（1人あたり3.3平米）が必要との条件の中、現在の基幹相談支援センターがある物件の2階部分を利用する計画で検討・交渉を行なった。その結果、物件の広さが基準に対してぎりぎりの広さであったことから再検討を要すると判断し、平成28年度の開所には至らなかった。

一方で、人事については職員を先行して採用することができ、27年度に1名、28年4月に1名の合計2名の職員を採用できた。

今後は新しく採用した職員を中心にしながら、平成29年度開所に向け、進めて行きたい。

事業内容報告書

中区障害者基幹相談支援センター (計)

平成27年度(平成27年4月～28年3月)

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	308	112	2	62	134	16	8	18
障害児	13	3	0	11	1	3	0	0
計	321	115	2	73	135	19	8	18

難病患者 (その他の再掲)	2
	0
	2

支援内容・方法

		福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	虐待相談 (権利擁護の再掲)
訪問	訪問	197	4	11	10	0	1	0	5	0	1	0	12	241	0
	同行	27	0	20	0	0	0	3	3	8	2	0	6	69	0
	個別支援会議	45	1	3	0	1	0	1	0	0	0	2	0	53	0
	関係機関調整	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0
	その他	19	1	0	0	0	0	1	0	0	4	0	155	180	0
	小計	304	6	34	10	1	1	5	8	8	7	2	173	559	0
来所	来所	144	101	20	88	14	11	19	11	28	119	3	111	669	0
	電話	767	14	80	342	14	42	21	2	24	7	6	118	1437	0
	電子メール	111	3	2	3	0	0	3	0	1	1	0	78	202	0
	小計	1022	118	102	433	28	53	43	13	53	127	9	307	2308	0
	計	1326	124	136	443	29	54	48	21	61	134	11	480	2867	0
ピアカウンセリング*(再掲)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	総会(全体会)	部会	研修会	その他	計
地域自立支援協議会	2	33	3	17	55

事業運営費外

障害支援区分認定調査	サービス等利用計画(案)	サービス等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
218件	23件	20件	99件	1件

平成27年度 中区障害者自立支援連絡協議会開催状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

計55回

全体会(計2回)

5月20日 12月8日

- ・平成26年度活動報告
- ・平成27年度事業計画説明
- ・各種情報提供
- ・研修会「中区における防災の助け合いの仕組み作りについて」
- ・研修会「障害者差別解消法と名古屋市の取り組みについて」

運営会議(計6回)

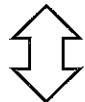
4月28日 6月26日 8月25日 10月20日 12月18日 2月25日

- ・区内社会資源確認
- ・各部会状況確認
- ・課題の整理
- ・自立支援連絡協議会の協議・検討



地域課題

- ・ヘルパーの確保(時間の変動のある学校などの送迎、距離が遠いなど)
- ・ヘルパーの確保(専門性の高い行動援護や同行援護)
- ・基本相談の部分に対する報酬がない(計画相談の報酬)
- ・地域に生活保護費内(37,000円)のバリアフリーの物件がない
- ・日本語が話せない(あまり話せない)外国人とのコミュニケーション
- ・親亡き後を考えた支援(権利擁護サービスや成年後見制度の理解など)
- ・介護保険移行に伴う制度の理解
- ・グループホームの空きが少ない(特に肢体不自由の方、高次脳機能障害など)
- ・医療機関(ドクター・ワーカーなど)との連携
- ・地域住民に対する障害の啓発



・東ブロック協議会へ

・名古屋市自立支援協議会検討会へ

<専門部会>

相談支援部会(計13回)<相談支援の強化>

4月6日 5月11日 6月1日 7月6日 8月3日 9月7日 9月14日 10月5日 11月7日 12月7日 1月7日 2月1日 3月7日

- ・社会資源情報の確認
- ・各相談機関状況確認と個別ケース検討
- ・通所施設、ヘルパー事業所の空き状況確認
- ・勉強会「訪問入浴サービス」 アースサポート名古屋
- ・勉強会「配食サービス」 株式会社医療給食

福祉ふれあいセンター部会(計23回)<障害の理解に対する啓発>

4月9日 5月14日 7月8日 8月5日 8月21日 8月26日 8月27日 9月17日 10月4日 10月27日 11月2日 11月12日 11月16日

11月17日 11月19日 11月20日 11月30日 12月3日 12月12日 12月19日 1月22日 2月15日 3月14日

- ・シリーズ講座(講演会「精神障害の理解」「発達障害の理解」、見学会、交流会)の準備と振り返り
- ・第4回中区安心・安全・快適なまちづくり大会
- ・シリーズ講座 講演会「精神障害の理解」
- ・シリーズ講座 講演会「発達障害の理解」
- ・シリーズ講座 見学会「ウイングル丸の内センター」
- ・シリーズ講座 見学会「池田作業所」
- ・シリーズ講座 交流会「AIAIカフェ」
- ・シリーズ講座 交流会「よりみちサロン」

広報部会(計4回)<福祉サービスの広報>

5月18日 7月10日 8月28日 2月29日

- ・平成27年度ガイドブック更新活動
- ・バリアフリーマップ検討
- ・中区にお住まいで身体に障害のある方を対象にアンケートを実施(知りたいバリアフリー情報や協議会に希望すること等)

ネットワーク部会(7回)<ネットワークの強化>

5月22日 6月23日 8月25日 9月29日 11月19日 3月9日 3月24日

- ・見学会「リーフ」+交流会「今後交流会でていきたいこと」
- ・見学会「クローバー」+交流会「生活リズムに課題のある精神障害の方への支援について」
- ・見学会「おおすの森」+交流会「精神障害(うつ病)の利用者とご家族(統合失調症)の方への支援について」
- ・見学会「アフタースクールPFS」+交流会「ひきこもり支援について」
- ・見学会「#Ap」+交流会「精神障がい(躁病)で薬の副作用のある作業困難な方への対応について」
- ・交流会(児童発達支援・放課後等デイサービス事業所意見交流会)
- ・見学会「ウイングル名古屋駅前センター、ウェルビー名古屋駅前センター」

【名古屋市重症心身障害児者施設(通称：ティンクルなごや)】事業報告

1 はじめに

事業開始初年度の主なイベントは以下のとおりであった。

4/1 辞令交付式 職員研修

新採用者 看護師 生活支援員 医師 コメディカル その他 計 69 名

5/11 最初の入所者受け入れ

最初の入所者 2 名を受け入れる。その後、順次受け入れを行った。

9月からは人工呼吸器装着者などの超重症児者の受け入れも始まった。

5/24 開所式、内覧会

名古屋市長 木管アンサンブル 一般参加者

6/10 短期入所受け入れ開始

4月より、短期入所の申込受付を開始、5月の中旬から希望者の面接を開始、

10/10 ウェルネスガーデンキックオフ

11/2 医療監視

11/20 ピアノコンサート

12 職員研修

12/25 クリスマスイベント

2/ 4 監査実地指導

2. 入所者支援の状況

1) 利用実績 別紙のとおり

応募者は 108 名、うち名古屋市の主催する入所調整会議で入所が適当と判定された人は 52 名だった。このうち、決定後の入所辞退が 13 名、入所者した人が 39 名だった。入所者のうち準、超重症児者が 15 名、全体の 38.5% を占め、医療度の高い構成となった。60 床体制で臨んだ初年度であったが、入所対象者となった方を当方の事情でお断りすることはなかった。

初年度の目標には及ばなかったものの、入所調整会議での決定を受けた方については、ご本人の事情以外の人はほぼ受け入れることができた。

2) 健康管理

入所して 1 ~ 3 ヶ月に体調をくずし、西部医療センター等に転院を余儀なくされた事例があり、在宅からの環境の変化への対応の困難さを実感させられた。理学療法士や管理栄養士等との連携によって、離床を促す取り組みや、呼吸状態の改善への取り組みや安全な食事摂取のための姿勢作り、栄養状態の適正化などに取り組んだ。

総合病院との連携だけではなく、点滴による薬物治療など、院内での対応で改善で

きたことも多かった。

3) 感染対策

手洗いなどの感染予防の基本を確実に行うことで、感染予防に努めた。インフルエンザ流行時には、外来者も含めてマスクの着用、手洗いを実施し、又湿度を60%程度に設定することなどが奏功し、入所者の罹患をゼロに抑えることができた。又、感染が疑われた場合には迅速診断キットによって早期の判断を行ない、利用者や家族に対する行動制限や面会制限を最小限に抑えるよう工夫した。

4) 生活支援

音楽活動、スヌーズレン、車椅子ダンス、年賀状作りなど、日中活動に取り組んだ。しかし、健康管理を優先し、新しい環境になれることを重視するケアの中で、室内での活動が多くなった。ウェルネスガーデンへの散歩の機会は増えてきたが、外出は実施できなかった。

季節行事や誕生会などには多くのご父兄に参加していただいた。

3 短期入所の利用状況

申込受付の状況（3/31）

初年度は入所も含めて60床の稼動を目標として運営してきた。その中で短期入所枠をおおむね4床と想定した。年度後半の稼働率は平均3.5人／日を上回り、4床体制としては87%の充足率であった。

利用申込者総数：216名 うち、利用登録が終了した人：170名

お試し利用後も継続的に利用している人 67名で、半数以上がいざというときのための安心のため登録していると見られる。

利用実績は、

279件（利用者全体）/160件（継続的利用者 57.3%）、

644日（利用者全体）/548日（継続的利用者 85.1%）

短期入所の要望が多く、重症度の高い人が多いが、それが直ちに長期入所に結びつくのではなく、より密度の高い在宅支援サービスを利用することで在宅生活を続けていこうとするものであることがわかった。

短期入所が当初の予想以上にティンクルなごやの重要な役割であることを認識することになった。

4 職員研修

職員の確保 27年度の採用計画と採用状況（4月1日採用者を含む）

看護師：13名（退職1名）

生活支援員：9名（退職2名）

理学療法士：2名

言語聴覚士：1名

生活支援員の確保がもっとも困難であった。その他の職種はほぼ目標を達成した。

研修の状況 院内研修 計23回

感染対策、医療安全、褥瘡対策各委員会主催学習会 7回

呼吸器、おむつ、移動介助等 16回

院外研修 計97名

外部研修への参加 53名

他施設体験研修 44名

今年度は利用者数が少ない状況で、将来に向けた体制作りが大きな課題であった。そのため、職員研修機会の確保には大きな力を割き、今後の展開の中でスタッフの力量として活かすことを目指した。

5 評価

1) 利用者満足度調査

項目別の評価結果は、平均評価点は5点満点で4.63～4.06の間であり、「満足」と「ほぼ満足」の間にに入った以上の結果から、ほぼ満足という評価を得ているという結論を引き出すことは、大きな誤りではない。

しかし、少数意見には、隨時におむつ交換をしてほしい、入浴、整容が不十分、室温管理が不十分なことがあった。ご家族への対応で、質問への回答に時間がかった。職員同士の連絡が悪い。同性介護の要望、家族控え室の清掃不十分などの厳しい意見があった。お褒めの言葉も頂いたが、それに甘えることなく、できるところから取り組んでいきたい。

2) 苦情受付

苦情として上げられたものはなかったが、通知文書や掲示の文章がわかりにくい、内容が不十分などの指摘、音楽療法など外部のボランティア等を導入して日課の充実を図ってほしい、職員間の伝達が不十分など、さまざまな意見や要望が寄せられた。

準備が不十分であったり、経験不足であったりして配慮の行き届かないところや、ご期待に添えていないところがあることは間違いない、まずはお詫びを申し上げたい。

遅いと思われるかもしれないが指摘された事柄についてはそのつど検討ができる

ことはひとつずつ改善を図ってきた。

利用者満足度調査 結果

実施時期 平成28年1月16日（土）～2月29日（火）

実施方法 長期入所者は保護者会にて配付、短期入所は実施期間中の利用者に配付、回収箱にて回収

回答者数 35人（長期入所16人、短期入所19人）

1 選択式回答の結果（1）全体集計

	満足・良い	ほぼ満足 ほぼ良い	どちらともい えない	やや不満 やや悪い	不満・悪い	(満足+ほぼ 満足) / 評価者 数	評価者数	平均評価
利用手続き	13	5				95%	18	4.53
職員の対応	88	44	6	3		93.6%	141	4.54
設備・環境	88	52	8	4		92.1%	152	4.47
生活支援	66	48	14	5	2	85.1%	135	4.27
ご家族への対応	44	24	8	1	0	90.1%	75	4.56
合計	299	173	36	13	2	90%	525	4.43

平成27年度 名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや 職員数一覧表

(毎月1日現在)

月	内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
医師	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	非常勤	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7	7	7	日宿直医を除く
	常勤換算	2.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	5月11日から当直有
看護師	常勤	37	37	37	39	40	40	42	42	42	43	43	42	
生活支援員	常勤	27	27	27	27	27	27	27	27	27	26	26	27	
薬剤師等	常勤	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	栄養士・リハビリ
放射線技師等	非常勤	1	1	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	臨床検査、電気技師
事務員	常勤	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
計	常勤	77	77	77	79	81	81	83	83	83	83	83	83	
	非常勤	9	9	11	12	12	12	12	11	11	11	11	11	

平成27年度 名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや 利用状況一覧表（施設入所）

(単位：人)

内訳	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延入所者数		203	609	715	762	710	918	967	1,062	1,053	1,035	1,141	
18歳未満		4	30	31	31	55	92	170	156	151	145	163	
18歳以上		199	579	684	731	655	826	797	906	902	890	978	
実入所者数(当月1日時点)			18	24	24	25	28	34	36	35	35	36	
超重症児者数							2	5	5	4	4	4	
準超重症児者数			3	6	6	6	7	9	10	10	11	11	
呼吸管理		1	3	4	4	6	11	12	12	11	11	11	
人工呼吸器あり						1	4	5	5	4	4	4	
気管切開あり		1	3	4	4	5	7	7	7	7	7	7	
経管栄養(胃ろう、経鼻等)		8	11	12	12	15	20	22	22	21	22	22	
学校教育						1	1	2	2	2	2	2	

平成27年度 名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや 利用状況一覧表（短期入所・一時保護）

内訳	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数				6	18	65	70	90	102	97	131	118	105
実利用者数				3	13	32	30	44	53	39	41	44	41
呼吸管理					2	6	3	6	10	4	7	6	8
人工呼吸器あり						2	2	4	4	2	3	4	5
気管切開あり					2	4	1	2	6	2	4	2	3
経管栄養(胃ろう、経鼻等)					6	12	7	11	14	9	18	13	14
利用件数			3	15	37	30	47	57	43	44	44	44	
契約者数(当月1日時点)				3	15	43	61	82	105	116	133	141	